

第41回 *The 41st Meeting of the Japan Society of Colon Examination*  
日本大腸検査学会総会



プログラム・抄録集

大腸検査  
— 病変の本質に迫る —

会期 2023年11月17日[金]・18日[土]

会場 ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10  
住友不動産九段ビル3F

会長 藤井 隆広 医療法人隆風会 藤井隆広クリニック

## ご挨拶



第41回日本大腸検査学会総会  
会長 藤井隆広  
(医療法人隆風会 藤井隆広クリニック)

日本大腸検査学会の第41回総会を2023年11月17日(金)・18日(土)の2日間、ベルサー  
ル九段にて開催致します。

本学会は、大腸検査法研究会の業績を継承し大腸検査に関する基礎的事項を踏まえ臨床研究  
の促進発展を通じ社会貢献を行うことを目的に、工藤進英理事長、そして役員諸兄のご指導の  
下に鋭意準備を進めております。

大腸癌の罹患・死亡率は2000年頃まで増加の傾向でした。近年、大腸がん検診を含めた大  
腸内視鏡検査及び治療の成果で横ばいに転じていますが、発症原因が特定された胃癌のような  
顕著な死亡率低下には至っていません。大腸癌の死亡率減少のため胃癌と同様に原因解明が必  
須であり、大きな課題となっています。大腸癌の解明を目指し『大腸検査-病変の本質に迫る』  
を今回のメインテーマとしました。

内視鏡検査を専門に取り組んでいる先生方やメディカルスタッフの方々の為に、大腸表面型  
腫瘍(LST-G、LST-NG、陥凹型腫瘍)や大腸鋸歯状病変、炎症性腸疾患での潰瘍性大腸炎の重症  
化移行の見極め方や関連腫瘍(UCAN)など病変の大腸内視鏡での発見法や病態の解明などが議  
論できればと考えています。

研修医や看護師、内視鏡技師等のメディカルスタッフの方々には、大腸検査に関わる新しい  
手法の紹介、大腸内視鏡の前処置法、大腸内視鏡検査に関わる多くの疑問点に対するQ&Aなど、  
幅広く学べるような検査・治療の技術習得に役立つセミナーを設けています。

また、本学会の特徴である大腸内視鏡挿入法のハンズオンセミナーでは、最新のコロノモデ  
ルを採用して、内視鏡挿入法から拡大観察法、内視鏡治療法など、初心者にも実践に役立つ技  
術を習得できる工夫を凝らした内容を企画しています。

さらに今回は、特別に内視鏡技師会からのサポートも得て、腹壁圧迫をはじめ、検査介助法  
などメディカルスタッフの方々が学べるブースも用意しています。

今回の大腸検査学会も日本消化器内視鏡技師会更新ポイント対象学会です。  
関東消化器内視鏡技師会の協力も得ており、魅力のある学会にしていきたいと考えています。

皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

## 日程表 <1日目 11月17日(金)>

	第1会場 (ホール A)	第2会場 (ホール B)
	開会の辞 [9:25-9:30]	
9:30	教育講演1 [9:30-10:10] 司会：松田 高久 (共催：ヤンセンファーマ株式会社) ①「潰瘍性大腸炎診療におけるバイオマーカーの実際と課題」 演者：藤井 紘大	会長特別企画 [9:30-10:10] 「固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望 - SCRUN-Japanの成果から紐解く」 司会：吉田 茂昭 演者：吉野 孝之
10:00	②「潰瘍性大腸炎に対する薬物治療 ～TNF $\alpha$ 阻害薬という選択を考える～」 演者：清水 寛路	
10:30	会長特別企画 [10:10-11:25] 「大腸検査のイノベーション」 司会：山本 博徳 演者：下田 良 池松 弘朗 藤井 政至 (共催：富士フィルムメディカル株式会社)	シンポジウム1 [10:10-11:25] 低侵襲な大腸検査法の現状と将来展望 -大腸内視鏡の工夫、大腸カプセル内視鏡、大腸CT検査など- 司会：大宮 直木 永田 浩一 基調講演：大宮 直木 S1～S1-8
11:00		
11:30	理事長講演 [11:30-12:00] 「陥凹型大腸癌のAIと遺伝子診断」 司会：吉田 茂昭 演者：工藤 進英	
12:00		
12:30	ランチョンセミナー1 [12:10-13:10] 「大腸表面型腫瘍の本質に迫る」 司会：田中 信治 演者：齋藤 豊 (共催：オリンパスマーケティング株式会社)	ランチョンセミナー2 [12:10-13:10] 「診療所で見極めるIBDの検査・診断と治療」 司会：緒方 晴彦 演者：猿田 雅之 (共催：持田製薬株式会社)
13:00		
13:30	会長講演 [13:15-13:55] 「大腸拡大内視鏡と共に歩んだ30年のキセキ」 司会：工藤 進英 演者：藤井 隆広	
14:00		
14:30	パネルディスカッション1 [14:00-16:50] 「大腸病変の診断と治療 アンサーパッドQ&A」 司会：堀田 欣一 池松 弘朗 基調講演：堀田 欣一 (共催：EAファーマ株式会社) コメンテーター：齋藤 彰一 岡 志郎 坂本 琢 三澤 将史 病理コメンテーター：味岡 洋一	シンポジウム2 [14:00-15:30] 「先進的な大腸内視鏡検査法の実用化に向けて -超拡大内視鏡、内視鏡AI、 Confocal laserendomicroscopyなど-」 司会：炭山 和毅 一政 克朗 S2-1～S2-8
15:00		
15:30		
16:00		アフタヌーンセミナー1 [16:00-17:00] 「潰瘍性大腸炎および関連腫瘍の内視鏡診断と治療」 司会：松本 主之 演者：浦岡 俊夫 (共催：アuzzi合同会社)
16:30		
17:00	イブニングセミナー [17:00-17:40] 大腸カプセル内視鏡検査のこれから～IBDにおける活用を中心に～ 司会：岡 志郎 演者：小林 拓 (共催：コヴィディエンジャパン株式会社)	教育講演2 [17:00-17:40] 「バイオマーカーを活用するIBD診療」 司会：渡辺 憲治 演者：大塚 和朗 (共催：EAファーマ株式会社/積水メディカル株式会社)
17:30		

## 日程表 < 2日目 11月18日(土) >

	第1会場 (ホール A)	第2会場 (ホール B)
8:30	<b>CS挿入ハンズオンセミナー</b> [8:40-9:00] ミニレクチャー 司会：木庭 郁朗 演者：池松 弘朗	
9:00	<b>特別講演</b> [9:00-9:40] 「大腸内視鏡検診への期待-受診率向上への取り組みと精度管理の重要性-」 司会：鶴田 修 演者：小林 望	
9:30	[9:40-11:20]	
10:00	<b>シンポジウム3</b> 「直腸病変の謎に迫る」 司会：藤盛 孝博 榎田 博史 基調講演：松田 尚久 S3-1～S3-7	[10:00-12:00]
10:30		<b>CS挿入ハンズオントレーニングセミナー</b> トータルコーディネーター：池松 弘朗 講師：中野 尚子 工藤 豊樹 大瀬良 省三 新村 健介 藤井 政至 鎌田 博之 (協力：オリンパスマーケティング株式会社 株式会社RO)
11:00		
11:30	[11:25-11:55] <b>評議員会・総会</b>	
12:00	[12:00-13:00] <b>ランチョンセミナー3</b> 「大腸锯齿状病変の本質に迫る」 司会：山野 泰穂 演者：佐野 寧 (共催：富士製薬工業株式会社)	
12:30		
13:00		
13:30	[13:10-14:10] <b>アフタヌーンセミナー2</b> 「内視鏡治療におけるピュアスタートを用いた止血マネジメント」 司会：浦岡 俊夫 演者：吉田 直久 千野 晶子 (共催：株式会社スリー・ディー・マトリックス)	
14:00		[14:00-16:00]
14:30	[14:10-16:10] <b>パネルディスカッション2</b> 「大腸内視鏡検査 アンサーパッドQ&A」 司会：斎藤 豊 松田 尚久 基調講演：玉井 尚人 (共催：EAファーマ株式会社) コメンテーター：寺井 毅 竹内 洋司 吉田 直久 玉井 尚人 関口 正宇	<b>大腸ESDと拡大観察法</b> <b>ハンズオントレーニングセミナー</b> トータルコーディネーター：池松 弘朗 講師：林 武雅 山田 真善 豊嶋 直也 新村 健介 (協力：オリンパスマーケティング株式会社 株式会社RO KOTOBUKI Medical株式会社)
15:00		
15:30		
16:00	[16:10-16:20] <b>閉会の辞</b>	
16:30		

## プログラム

### 理事長講演

2023年11月17日(金) 第1会場(ホールA) 11:30～12:00

#### 陥凹型大腸癌のAIと遺伝子診断

司会：吉田 茂昭(青森県病院事業管理者)

演者：工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)

### 会長講演

2023年11月17日(金) 第1会場(ホールA) 13:15～13:55

#### 大腸拡大内視鏡と共に歩んだ30年のキセキ

司会：工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)

演者：藤井 隆広(医療法人社団隆風会 藤井隆広クリニック)

### 特別講演

2023年11月18日(土) 第1会場(ホールA) 9:00～9:40

#### 大腸内視鏡検診への期待

##### -受診率向上への取り組みと精度管理の重要性-

司会：鶴田 修(社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 消化器内科)

演者：小林 望(国立がん研究センター中央病院 検診センター)

### 会長特別企画

2023年11月17日(金) 第2会場(ホールB) 9:30～10:10

#### 固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望 -SCRUM-Japanの成果から紐解く

司会：吉田 茂昭(青森県病院事業管理者)

演者：吉野 孝之(国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門、消化管内科)

## 大腸拡大内視鏡と共に歩んだ30年のキセキ

藤井 隆広

医療法人社団 隆風会 藤井隆広クリニック 理事長

今日の大腸内視鏡検査、診断には欠かせない拡大内視鏡は1993年、工藤進英先生が開発され、今年で30年の年月が過ぎている。初代拡大内視鏡は挿入重視のPCF、診断重視のCF-200Z、当時は拡大内視鏡の評価は低くPCFが好評とされていた。1995年、PCF-240Zの挿入性能は向上し、2021年CF-XZ1200Iの登場により光量、画質共に過去最高レベルとなっている。

1990年、私は国立がんセンターでの研修を終えた。研修中大腸IIcに関心を持ち、吉田茂昭先生から工藤進英先生を紹介頂き、秋田赤十字病院に入職。秋田赤十字病院での2年間は実体顕微鏡や拡大内視鏡の操作や診断方法、大腸IIcやLST-NGなどの診断学を濃密に学んだ期間であった。

1992年、秋田赤十字病院から国立がんセンター東病院に移り、Serrated adenomaの拡大観察に興味を持つ。

1995年、大腸IIcが日本の風土病と揶揄されていた時代、国立がんセンター総長、阿部薫先生と副院長、吉田茂昭先生が設立された「UK-Japan Projectの成果として、英国で大腸IIcを発見し、大腸IIcが日本固有のものではなく、国際的疾患であることを証明せよ」とのミッションを受け、英国リーズ大学病院に大腸内視鏡医として4ヶ月間出向する。前処置不良など極めて条件が悪い中、210例中2例の大腸IIcを発見でき、大腸IIcが世界的な病気であることを証明できた。

拡大内視鏡は大腸病変を詳細に観察でき、内視鏡検査には必須である。

2001年、工藤pit pattern分類を3型に大別した臨床分類を提唱した。今日では、NBIのJNET分類と工藤・鶴田pit pattern分類の併用により、簡易かつ確実な質的・量的診断が行え、更にpit pattern臨床分類のinvasive patternは、T1b以深癌の診断に有用で内視鏡あるいは外科治療の選択に迷う場合でも、Crystal violet染色下拡大観察からの確かな補助診断が行える。

今日、注目されているSessile Serrated lesionは、1990年代からserrated adenomaに拡大観察を行い、IIHやIVH型の鋸歯状pitを提唱してきたが、未だ鋸歯状病変の実態は不明であり、さらなる追求を目指している。

今日の私の大腸内視鏡検査において拡大内視鏡は必須アイテムであり、大腸がんを解明するという興味や希望、また多くのチャンスを与えてくれた。

今日の私の存在があるのは、この道のりを導き、指導くれた吉田茂昭先生、工藤進英先生をはじめ、病理解釈、疑問に丁寧に対応してくれた藤盛孝博先生のお陰である。

この30年を振り返り思うことは、多くの恩師の先生、素晴らしい優秀な仲間との出会いがあり導かれてきた人生、これもキセキかもしれない。

第41回 The 41st Meeting of the Japan Society of Colon Examination

日本大腸検査学会総会

大腸検査

— 病変の本質に迫る —

開催 2023年11月17日(金)・18日(土)

会場 ベルサール九段

会長 藤井 隆広 医療法人隆風会 藤井隆広クリニック



第41回日本大腸検査学会総会

会長：藤井 隆広

(医療法人隆風会 藤井隆広クリニック)



第41回日本大腸検査学会総会

会長：藤井 隆広

(医療法人隆風会 藤井隆広クリニック)

